

町内連絡

令和元年9月
回覧
幌北第3町内会
☎011-706-1451

●各種募金のお願い！

回覧に添付しています「赤い羽根共同募金」と「複十字シール運動募金」への協力をお願いします。それぞれの募金・活動の趣旨は添付資料にあります。平易に言いますと「共同募金は地域の福祉のために利用される募金」「複十字シール運動募金の益金は結核予防の普及啓発及び団体の活動費に利用」などです。上記の趣旨に賛同し募金をしてくださる方は、小川が自宅まで頂きに伺いますので（090-2699-2823）まで連絡をお願いします。※小川は勤務しているため電話に出ることが出来ない場合があります。留守番電話に要件、住所、お名前を入れて頂ければ折り返します。

●連町防災部「防災セミナー」のご案内！

日 時：10/5(土) 時間 10:00~11:00

場 所：幌北会館 集会室（北17条西5丁目1-7）

テ ー マ：「地震が起きたらどうするか？又、実際にどうしたら助かるか？」

申し込み：10/2(水)迄に小川（090-2699-2823）までお願いします

※小川は勤務しているため電話に出ることが出来ない場合があります。留守番電話に要件、住所、お名前を入れて頂ければ折り返します。

●幌北小5年生と「北大構内ウォーキング」のご案内！

日 時：10/18(金) 集合受付時間：9:30~9:45<11:40 終了予定>

集合場所：エルムトンネル南側広場（北17条西7丁目あたり）

申し込み：10/11(金)迄に松田福祉厚生部長（090-3779-2548）までお願いします。

また回覧にある名簿に明記があった場合、班長さんは上記、松田部長まで連絡をお願いします。

●「町内資源リサイクル回収日」は11月8日(金)です！

[奇数月、第2金曜日] 朝9時までに玄関前か、歩道前に出してください。

段ボール類はゴミステーションには出せませんので、資源回収をご利用ください。

新聞、雑誌、牛乳パック、段ボールは束ねて出すようお願い致します。

10月回覧でもお知らせいたします。

●「北13条いこい公園」清掃日のお知らせ！

9月の公園清掃はひろっぱクラブ担当で、9/14(済)、9/28(土)9:00~を予定し

ています。可能な方はお手伝いをお願いします。10月は第1町内会担当、合同

清掃は例年、5月・8月(済)、11月です。多くの方のご協力をお願い致します。

特記：北13条いこい公園には町内の「防災資機材」が北西角に収蔵してあります。

◇幌北第3町内会は現在、町内の再開発などにより、以前からお住いの方たちが

引越され、町内会運営がとても難しくなっております。本回覧も4年目

を迎える下記のWebサイトも、遅れ気味となっており、みなさまにはご迷惑を

かけております。ご容赦ください。

！！幌北第3町内会 Web サイト！！

<http://chiri.let.hokudai.ac.jp/~you/horokita3/>

回覧板など町内の最新情報や防災に関することなどが

見ることが出来ます。ご利用ください。



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

～健康と予防 お互いさまの気持ちを大切に～
住み慣れた地域で暮らし続ける



～気にかける さりげない見守り～

「誰もが、住み慣れた地域で心豊かに安心して暮らせる」を目指すために「**身近にいる人と人のつながり**（地域共生）」を考えてみます。

現在は、高齢者単身世帯が増加する中、同時に人間関係が希薄になって来ております。また、高齢者は加齢と共に身体が衰え、外に出る機会がどんどん減ってきます。人との係わりが無くなるという喪失感や疎外感は、地域から**孤立する**要因にもなります。孤立は、生活の質を低下させ、命のリスクを高めます。見守りの必要性が増しているのですが、なかなか目が届かなくなっているのが現状です。自立とは、人に頼らず生活出来ることではなく、頼れる先をたくさん持つことだと言う人もいます。さらに、避けて通れないのが**認知症**です。自分の生活や人生を自ら選ぶことができなくなる介護や闘病が続きます。2025年には、65歳以上の約7人に1人が認知症になると推測されています。大切なことは自分の健康維持のための予防と早期発見でしょう。

見守りの推進は民生児童委員を中心に、地域の福祉推進委員会など体制を整えて行っていますが、基本的には「**福祉のつながり**」を作ることだと思います。見守る人、見守られる人の関係性を固定しないで、身近な近隣同士が自発的に見守りを行い民生児童委員につなぐのが理想です。

互いに気遣う声掛けや、困りごとの対応は、安心と信頼の源であり、愛着につながります。お互いに寄り添う「**支え上手・支えられ上手**」に成長したいものです。

高齢者のニーズ（幌北地区民児協・H30.3.6）調査では、気楽に集まれる場所や仲間が欲しい。何か役に立つことがしたい等がありました。

今の時期であればラジオ体操など、地域では、「老人クラブ」や「すこやか倶楽部」があり、「ボランティア」等も活躍しています。地域参加は、自分の元気源であり、地域も期待しています。**「つながり」**が復活し仲間が増え、楽しく「地域の活性化」にもなります。

食生活から元気な暮らしを！

令和元年度第1回 幌北地区福まち研修会

令和元年7月8日、幌北会館で「食生活から元気な暮らしを！ 住み慣れた地域でいつまでも～認知症になっても安心して暮らせる地域づくり～」のテーマで福まちの研修会がありました。

1部「食生活から元気で長生き」 北区管理栄養士 小松 留美氏

① 札幌市はしっかり食べて元気で長生き、健康寿命を引き上げることがを推進しています。

② 体重が1ヶ月で5%、6ヶ月で10%減少する場合は低栄養食事の可能性あり、たんぱく質の摂取を。

③ たくさん食べる事よりバランスが大事（まんべんなく食べる事）

④ 最後に、10食品群シート、食生活のバランスチェックシートで各自のバランスを確認しました。食生活のバランスが認知症予防にも大きな役割を果たすことを学びました。



2部「リフレッシュタイム」

① 介護予防センター新道南 池田伸子氏

指を使ってのリフレッシュを学びましたが、簡単そうに思えたものが意外と難儀しました。

② 北区第一包括支援センター 川本志寿子氏 高齢者を狙った詐欺予防情報。おかしいと思った時の連絡シートについて説明を受けました。

3部「認知症の理解と関わり方について」 札幌市認知症介護指導者 岩本栄行氏

① 認知症の理解

・色々な捉え方があるが簡単に言うと「日常生活が一人できなくなる」・アルツハイマー型等多くの疾患があるがそれぞれ症状も違ってくる。・不安にさせない、失敗させない等に留意し日常生活が送れるように支援することが大切。

② 関わりについて

・支援者が無理な関わりを続けると、当人は不安、不快、焦燥、怒り、被害、孤独感に襲われる。支援者はそれに留意して接すること。・関わりのポイント（イ、丁寧に ロ、繋がるきっかけを探す ハ、相手に応じをる 二、相談事を持ち掛ける ホ、褒める ヘ、リアクシ

ョンは大きく ト、適度な距離感）・関わり方3つのお願い（イ、一人で抱え込まない ロ、人の気持ちを置き去りにしない 人として向き合う ハ、信頼関係を最優先 自分自身の言葉や態度、姿勢を考える）・最後に、認知症になっても暮らせるためには、**周りが「気に掛ける」**ことだと思えますと言われました。みんなが日頃心がけることを示していただきました。



高齢者の集える場

～幌北老人クラブ訪問記～

幌北地区には、ふたつの老人クラブがあります。それぞれ発足してから50～60年近くなりますが、最近の活動内容を紹介いたしたく訪問しました。

5月24日、「幌北不老会」の総会に参加すると、男女が平行に2列に座っていました。会員数は50名で半数は男性で、議員さんや町内会長さんも多く緊張しましたが会話の中からフランクさが伝わり、カラオケも全員合唱できる選曲で終わるなど、和やかさが感じられました。



会員の方は「男性が多いのですぐ仲間になれた」、女性の方からは「自由で楽しいよ」との声がありました。

月2回の例会は、誕生会と麻雀、将棋、カラオケを楽しみ、スカットボール大会や長寿会、研修旅行、忘年会、新年会、雛祭り。公園清掃、共同募金の社会奉仕もしています。

松村重則会長は「研修会も実施したい。何よりも集まることで安否確認ができるので楽しんで来てほしい。」と話していました。

もうひとつの「幌北ほぷら会」には6月17日の日帰り研修に同行しました。22名の参加で、気温14℃の小雨まじりの中、百合が原公園で「リゾートレイン」に乗車、菜の花、牡丹、芍薬、ルピナスやハマナスを楽しみ、ガトーキングダムで昼食、温泉とおしゃべりをたっぷり楽しみました。



月2回の例会は、宮の森病院職員の血圧測定と高齢者向けの講話、介護予防センター新道南の職員の脳トレやゲーム、ストレッチや筋肉体操をし、昼食後はふれあい交流会の合唱や踊りの練習、カラオケ、スカットボールをしています。食事会、観劇会、クリスマス、新年会、雛祭りを実施、健康教室や交通安全研修で外出することもあり、社会奉仕として公園清掃や共同募金に協力しています。今年は被災地の厚真町にも行きました。

新枝百合子会長の「自主、自立を基本に常に頭を働かせて、身体を意識しながら行動し、会員も気づかい、元気に参加する」を実行。常に20数名の参加があります。

名 称	幌北ほぷら会	幌北不老会
例 会	毎月第1・第3月曜日	毎月第2・第4金曜日
時 間	午前10時半～午後2時	午前10時～午後3時

会場は、幌北会館（北17条西5丁目）です。電話 726-6345（会館事務室）どちらの会も広く会員を募集しており、見学も自由です。家から一歩出かけてみませんか。

**高齢者の方々が、住み慣れた地域で、
くらし続けるために応援してください。**

札幌市と札幌市社会福祉協議会では、毎年12月から「福祉除雪事業を行っています。

この福祉除雪事業は、70歳以上の高齢の方や障がいのある方など、積雪により冬季間の生活に不自由されている世帯に対して、地域の協力員さんが助け合い活動の一環として除雪作業を行う仕組みです。

除雪作業に加えて利用世帯の安否確認も兼ねており、地域住民がお互いに助け合う優しい街づくりの一つとして、雪国ならではの温かな取り組みです。今年も12月からの「福祉除雪事業」の実施に向けて、新たに除雪活動に協力していただける「地域協力員」さんを募集します。

活動内容

- ①除雪範囲…間口（道路への出入り口部分）を概ね1.5m、敷地内（玄関先までの通路部分）を歩行に支障のない80cm程度の除雪をしていただきます。
- ②除雪日時…札幌市の道路除雪が行われた日の12時ころまでに実施していただきます。
- ③除雪期間…令和元年年12月1日（水）～令和2年3月25日（水）

募集内容

年齢・性別を問いません。一つの世帯をご家族、お仲間など複数の方で除雪いただくことも可能です。

申込方法

ご協力いただける方は、北区社会福祉協議会に登録していただきます。

※ 登録・お申し込みなどの詳細は
北区社会福祉協議会へ

電話 **757-2482**



福祉除雪事業協力員募集中

幌北地区福祉のまち推進センター

令和元年9月4日

町内会様

幌北連合町内会
厚生福祉部長 三浦洋司

第10回「幌北小学校とのウォーキングの集い」参加のお願い

恒例になりました「北大構内ウォーキング集い」を下記の通り実施します。

幌北小学校5年生・PTA・学生・町内会の皆さんで、紅葉の北大構内を

それぞれ交流を深めながら散策したいと思います

現在、5年生と学生でコースや当日の運営について検討中です

町内会の皆さまにおかれましては、一人でも多く参加をお願いします。

※なお歩くのが遅い方も別グループを作りますので安心して参加ください

記

日 時 10月18日(金)
受付 9時30分～9時45分
スタート 10時～
終了 11時40分予定
集合場所 エルムトンネル南側広場(例年の場所)
体育研究所前

予備日 10月21日(月)

参加申し込み 各町内会7名～8名
当日参加もOKです

※参加者名簿は各町内会厚生福祉部長等がまとめ10月9日まで
まちづくりセンター、FAX(726-2765)までお願いします

第 町内会

名 前	名 前	名 前

※歩くのが遅いグループ希望の方は名前の前に○印をお願いします

さっぽろの町を良くするしくみ。



赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金

赤い羽根の募金活動は、市民のやさしい気持ちを集める活動です。

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動がはじまります。



札幌市の平成30年度の募金総額

92,979,836円

(対前年度-3,129,381円)

みなさまのご協力に
心より感謝申し上げます

共同募金会への寄付は、
税制上の優遇措置の対象です

赤い羽根共同募金とは？

共同募金は、昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まり、当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われました。その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。

共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、募金として取り組まれています。

共同募金のしくみ

共同募金は、地域ごとに課題解決に必要な使いみちの額を事前に定めてから、寄付を募る「計画募金」です。



共同募金の使いみち

平成30年度お寄せいただいた募金の約70%は、札幌市内の福祉活動や事業に活用されています。



★災害時にも活かされています！

共同募金会では、災害発生時に、被災者への義援金募集やボランティア活動支援(災害等準備金を積み立て、被災地でのボランティア活動へ助成)を行っています。

★赤い羽根サポーター宣言！

北海道を愛するスポーツチームや漫画家等が赤い羽根共同募金を応援してくれています。



札幌市北区共同募金委員会

問い合わせ 札幌市北区北24条西6丁目 北区役所内

TEL(011)757-2482 FAX(011)737-7270

昨年度(平成30年度)、北区内では、総額8,498,776円の
あたたかい善意が集まりました! ありがとうございます!!



内訳

- 戸別募金(ご家庭にお願いした募金)..... 6,715,072円
- 法人募金(企業等にお願いした募金)..... 1,154,843円
- 街頭募金(街頭でお願いした募金)..... 628,861円



この金額のうち、5,700,960円が、つぎのような内訳で、
今年度(令和元年度)の北区内の福祉のために役立てられます。
なお、ご協力いただいた募金は、全道・全市的な団体にも助成されています。

1 福祉団体の支援のために 計937,000円

- ①北区老人クラブ連合会
「研修活動事業」「保健体育活動事業」「文化活動事業」に
..... 697,000円
- ②北区おもちゃ図書館
「障がい児・健常児交流事業」に..... 140,000円
- ③ライラックの会
「在宅独居高齢者の見守り・日常生活における予防」に 100,000円

3 児童の福祉のために

- ①札幌市立白楊小学校
「社会福祉協力校事業」に 100,000円

5 各地区の住民が参加する福祉活動のために 計890,000円

- ①鉄西地区社会福祉協議会
「ひとり暮らし高齢者世帯配食サービス事業」に 80,000円
- ②幌北地区社会福祉協議会
「第29回ふれあい交流会」に 80,000円
- ③北地区社会福祉協議会
「福祉のまちづくり活動支援事業」に 80,000円
- ④新川地区社会福祉協議会
「ふれあいプレゼント事業」に 80,000円
- ⑤新琴似地区社会福祉協議会
「福まち広報誌」発行业業」に 80,000円
- ⑥新琴似西地区社会福祉協議会
「高齢者お祝い品贈呈事業」に 85,000円
- ⑦屯田社会福祉協議会
「ふれあい福祉週間事業」に 80,000円
- ⑧麻生社会福祉協議会
「親子交流促進事業」に 80,000円
- ⑨太平百合が原地区社会福祉協議会
「敬老演芸の集い」に 80,000円
- ⑩拓北・あいの里地区社会福祉協議会
「広報誌発行业業」に 80,000円
- ⑪篠路地区社会福祉協議会
「しのろ福祉のつどい開催事業」に 85,000円

2 障がいのある子の支援のために

- ①北海道クリスチャンセンター福祉会
家庭福祉相談室
「地域障がい児者支援事業」「障がい児通所支援事業」
「乳幼児発達支援事業」に 400,000円

4 住民行事の促進のために
「住民行事用テント設置事業」 計228,960円

- ①北王第七町内会(太平百合が原地区)に
..... 114,480円(1張り分)
- ②太平すずらん町内会(太平百合が原地区)に
..... 114,480円(1張り分)

6 北区全体の地域福祉のために 計2,225,000円

- ①北区社会福祉協議会
「地区社会福祉協議会活動の活性化強化・支援事業」に 826,000円
「地区社会福祉協議会活動助成事業」に 1,399,000円

7 北区内の共同募金活動のために

- ①北区共同募金委員会に 920,000円



「幌北ふれあい交流会」では地域の一年間の活動の振り返りの中で、
街頭募金の活動が紹介されていました。



拓北・あいの里地区の「あいの里祭り」では、地域の方と
北海道医療大学の学生さんが一緒に募金活動をしています。



寄付金付きピンバッジのご紹介
(1個 500円) 北区限定

あの日の募金が、現場で役立っていた。 力を合わせるって、こういうことだよね。



平成30年北海道胆振東部地震災害



災害ボランティアセンターによるボランティアの受付

ボランティアが活動時に着用するピブス

写真協力 / 厚岸町災害ボランティアセンター

平成30年は北海道胆振東部地震をはじめ、全国でも多くの自然災害に見舞われた一年でした。赤い羽根共同募金が、災害等準備金[®]を用意できていたことで、被災地のボランティアセンターの立ち上げ、維持等がスムーズに行われ、素早い復興への一助となりました。赤い羽根の災害等準備金は、万が一のために積み立てておくことで、いざという時に助けてくれます。きっと、あなたのやさしさも、困った時のあなたを助けてくれることでしょう。

※共同基金会では、大規模災害の発生に備えて、毎年寄せられた基金の一部を「災害等準備金」として、積み立てています。いざという時には都道府県の垣根を超えて素早く力を合わせる事ができる共同募金ならではのしくみです。



つみかさね、赤い羽根。

赤い羽根サポーター宣言

それぞれのフィールドで活躍する北海道のスポーツチームや漫画家の皆さんがプレーや作品を募金にかえて北海道の福祉を応援してくれています。



北海道を愛する漫画家の皆様(いがらしゆみこ他)

キャラクターたちも赤い羽根を応援しています。



皆様からのご協力をお待ちしております。
募金はお住いの地域の共同募金会窓口までお持ちください。

お問い合わせ
社会福祉法人 北海道共同募金会 電話 011-231-8000
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2.7 4階

あなたの募金が、北海道の福祉を支えています。

子どもたちや青少年の健全育成のために

子育て中のお母さん、お父さんを応援する活動や、子どもたちが地域で暮らす様々な世代の人たちと触れ合う世代間交流事業のほか、児童養護施設等で暮らす子どもたちへの支援を行っています。



被災者とボランティアを支える活動のために

大規模な災害が起こった際に被災された人たちとボランティアをつなぐ災害ボランティアセンターの設置・運営支援や、被災した福祉施設の復旧支援等に役立てられます。



お年寄りが安心して暮らせる地域づくりに

一人暮らしのお年寄りのためにボランティアさんが訪問し、栄養の整った食事を届けたり、地域から孤立をなくすことを目的とした活動等に役立てられています。



障がいのある人たちの社会自立のために

障がいのある人たちの社会参加支援、就労活動に必要な機器の購入、または福祉施設への車両整備等に役立てられています。



地域で活躍するボランティアの育成や研修に

学校で行われる思いやりの心を育てる福祉教育や、地域で福祉の担い手を育てるボランティア研修会等に役立てられています。



福祉の現場から「ありがとう」の声が届いています。

札幌市

社会福祉法人 札幌会

車両購入



この度は共同募金の助成金により車両購入をすることができました。納車されたときには、みんなが笑顔になりました。これから通所のための送迎のほか、利用者みんなでこの車に乗って外出したいと思えます。ありがとうございました。

札幌市

アシルスフィード北海道AFC

障がい者スポーツ「アンプティーサッカー」の活性化を目指した活動



共同募金の助成金をいただくことで、「アンプティーサッカー」という障がい者スポーツを世の中に数多くPRすることができました。今回の活動を通じて、新しいメンバーも増え、念願の全国大会参加も果たすことができました。皆様の寄付のおかげで、日々活動の輪が広がっていることを実感しています。これからも障がい者スポーツの発展に向け、頑張って活動して参りますので、応援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

赤い羽根共同募金は「計画募金」です。

3~5月

助成計画と目標を立てる



助成計画を立て、要望を実現するために必要な金額を「目標額」として決め、募金活動の準備に取りかかります。

10月1日

募金活動が一斉にスタート



全道各地で10月1日から赤い羽根募金、12月1日から歳末たすけあい募金運動が始まります。

翌年度に向けて

福祉団体から申請を募集



社会福祉施設や団体、ボランティアなどから、助成が必要な福祉活動の申請を募集し、配分委員会等により申請内容を調査、検討します。

翌年4月

集計後募金は助成先へ



寄付金額を勘案し、助成先と助成金額を決定します。4月に助成金が交付され、道内の福祉活動に使われます。

幌北会館

毎月第1金曜日

☆各回ともに

お申込み不要です☆

10:00~11:30

10月4日(金) すこやか体力測定会

11月1日(金) 【健康講話】ロコモティブシンドローム

講師 ナカジマ薬局ヘルスケア事業部

管理栄養士様



すこやか倶楽部

10月11月のお知らせ

鉄西会館

毎月第3木曜日

☆各回ともに

お申込み不要です☆

10:00~12:00

10月17日(木) すこやか体力測定会

11月21日(木) 折り紙教室~クリスマスに向けて~

材料費 100円 (当日集金します)



お気軽にお問い合わせください♪



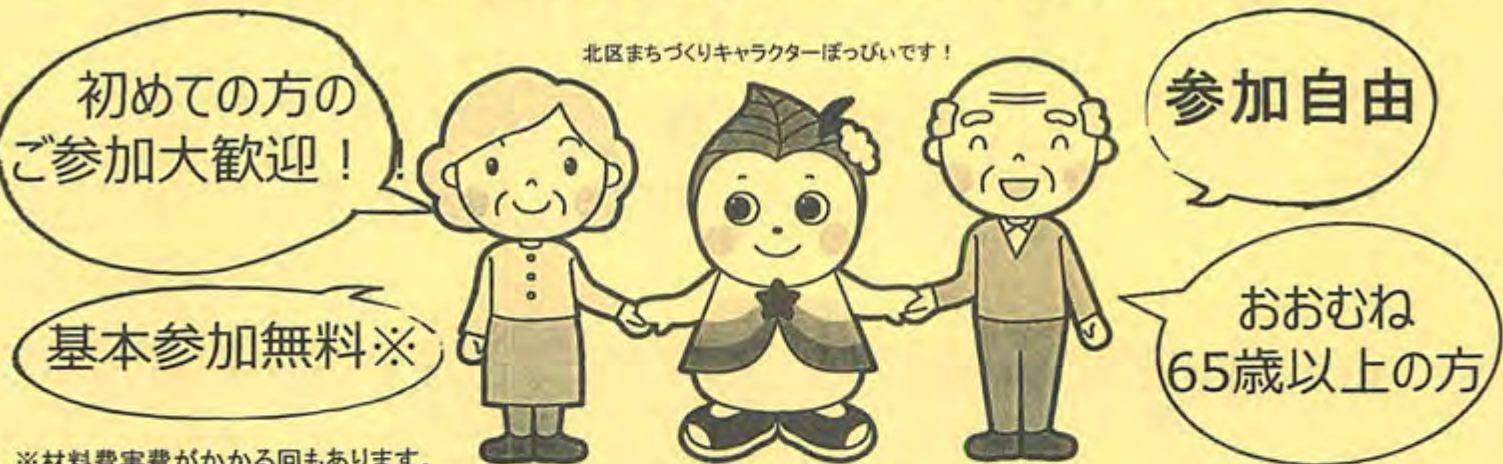
介護予防センター新道南 担当:池田・貝塚

札幌市 北区 北24条西5丁目 札幌サンプラザ5階

☎707-4129 (8:45~17:15 土日祝休)

すこやか倶楽部

住み慣れた地域で元気に暮らすための教室です



※材料費実費がかかる回もあります。
その時はこのチラシ等で事前にお知らせします。

専門家のお話、レクリエーション、脳トレ、音楽会、運動
ゲーム大会、創作活動etc

月替わりの多彩なプログラムです♪住み慣れた地域でお仲間と楽しみながら介護予防！

鉄西会館

北10条西4丁目

毎月第3木曜日

10:00～12:00

10月17日(木)

11月21日(木)

幌北会館

北17条西5丁目

毎月第1金曜日

10:00～11:30

10月4日(金)

11月1日(金)

プログラム内容は裏面をご覧ください。

主催 介護予防センター 新道南

☎707-4129

この事業は「介護予防事業」として札幌市から委託を受けて介護予防センターが行っています。



ほびっくす



ほろきたじどうかいかん 9月



住所：〒001-0017 札幌市北区北17条西6丁目1-20 TEL：727-6225/Fax：299-1904
札幌市児童会館指定管理者：公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会 <http://www.syaa.jp/>

★劇団ほろきた★

3・10・17日(火)

ごご 4:00~5:00

クラブメンバー

♪よみえもんで読むための練習をするよ!

★わんぱくワーカーズ★

4・25日(水) 6日(金)

ごご 4:00~5:00

委員会メンバー

♪下水道フェスタの準備をするよ!

★記者クラブ★

13日(金)

ごご 4:00~5:00

クラブメンバー

♪メンバーはおすれずに!

★百人一首クラブ★

クラブメンバー募集! 小2~小6 先着10名

練習日: 不定期 毎月のおたよりで確認してね

練習時間: ごご 4:00~5:00

申込み: 9/3(火) ごご 4:00~9/6(金) ごご 6:00

最後まで続けられる人が申込みをしてね

最初の活動は9月11日(水) ごご 4:00~5:00

♪1月の大会に向けてみんなで楽しく練習しよう!



★よみえもん★

18日(水)

ごご 4:30~5:00

来館者全員参加

♪劇団ほろきたのメンバーが絵本の読み聞かせをするよ!

★子育てサロン★

3・10・17・24日(火)

ごぜん 10:30~12:00

乳幼児と保護者 自由参加

♪10日は敬老の日の工作をします!

幌北地区福祉のまち推進センター運営委員会主催事業

★子育てひろば★

13日(金)ごぜん 10:30~12:00

乳幼児と保護者 自由参加

♪乳幼児救命救急講習会があります!





2019年
9月

札幌市幌北児童会館だより

ほろきたの輪

〒001-0017 札幌市北区北17条西6丁目1-20 ☎727-6225 ☒299-1904
札幌市児童会館指定管理者:公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
<http://www.syaa.jp/>



児童会館ブログ
<http://www.g-kansyaa.jp/blog/>



児童会館ホームページ
<http://www.g-kansyaa.jp/m/>

昨年の地震からもう1年が経ちます。あの日を境に札幌でも災害に対する考え方が大きく変わったなと思いますし、あの時ほど電気のありがたみを感じたことはないかと思います。日が沈むにつれ、外灯も信号機も点かない真っ暗な夜を過ごした経験はこの先ないことを願いたいものです。自分自身、あの日を教訓に9月は“節電”を心がけて自宅や会館で実践していきたいと考えています。みなさんも無理のない範囲で“節電”を取り組んでみてはどうでしょうか。

児童会館の風景



～ 実習生がきました♪ ～

◇北星学園大学から実習生1名がきていました◇



北星学園大学の心理・応用コミュニケーション学科の学生1名が8/7～28の期間内に幌北児童会館で実習を行いました。

★☆☆幌北児童会館のクラブ・委員会活動紹介③☆☆★

クラブ活動『劇団ほろきた』

子どもたちによる子どものための読み聞かせを行っているクラブ活動です。月1回の行事“よみえもん”で絵本や紙芝居を読むほか、土曜日に不定期開催している“さたでーさろん”ではペープサートに挑戦しています。小学校低学年7名のメンバーで日々練習を頑張っています♪



行事「よみえもん」の様子

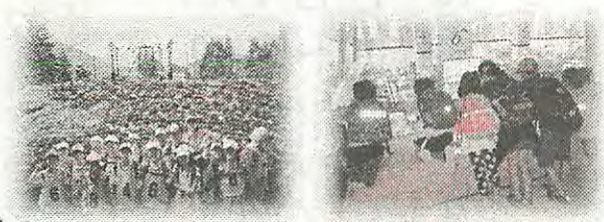
行事のようす



8/7 (水)・8 (木)

白い恋人パークに行こう！
～工場見学とお絵かき体験～

夏休みの遠足は7月にリニューアルしたばかりの白い恋人パークへ♪みんなでクッキーにお絵かきをしておみやげにしました！



夏休み

8/1 (木)・2 (金)

ほろきたパーラー
～オリジナルパフェをつくろう～



あつ～い日にはやっぱり
アイスが食べたい♪
そんな希望を叶えるパフェ
づくりの行事でした！



※※ 札幌市幌北児童会館のご利用について ※※

開館日 月曜日～土曜日 8:45～18:00
休館日 日曜日・祝祭日・年末年始(12/29～1/3)
対象 乳幼児～高校生(未就学児は要保護者)

- ★放課後、一度お家に帰ってカバンを置いてから遊びに来てください。
- ★体育室で遊ぶときはうわづがが必要です。
- ★「自由来館 利用カード」の提出の協力をお願いします。(年1回)
※児童クラブ員は必要ありません。

こほくしょうがっこう
幌北小学校

かいほうとしょかん
開放図書館だより

令和元年8月30日(金)

ほ

ほ

え

み

地域版
No.55

へんしゅう かいほうとしょ
編集：開放図書ボランティア 広報グループ

幌北小学校の図書館は、
地域の皆様にも開放
されています。

冬休み

12/26(木)~
1/19(日)

春休み

3/26(木)~

あたらしくはいる本

(こどもむけ)

- ねこのピート
- クリスマスをとどけよう
- いまぼくはここにいる
- あそびうた するもの
- よっといで
- マッチウリのしょうじょ
- 字のない はがき
- おひさまと おつきさまの
けんか
- へんしんバス
- うめぼしさん(紙芝居)
- あずかりやさん
- アブラカタブラカタクリコ
とちゅうげしゃ
- 途中下車は できません
- ぼくは なきました

(おとなむけ)

- 夏の坂道
- 希望の糸
- 平場の月
- 渦
- さよならの儀式
- ベルリンは晴れているか

ご利用案内

場 所 幌北小学校 2階

開館日 火・木・金

開館時間 (4月~10月) 午後1時~4時
(11月~3月) 午後1時~3時30分

貸 出 ひとり2冊 幌北小学校児童：1週間
地域の方：2週間

入口

幌北小学校
西玄関

北辰中学校

どなたでも
ご利用に
なれます

- 防犯上当校は玄関を施錠しています。西玄関、左側のインターホンを押して、「開放図書館」ご利用の旨をお伝えください。
- 駐車スペースがありませんので、お車での来館はご遠慮ください。
- 学校がお休みのときは図書館もお休みです。また、やむをえぬ理由で予告なく休館する場合があります。なにとぞご了承ください。



札幌市北区

受

講

者

募

集

身近にできるちょっとしたお手伝い！

札幌市北区社会福祉協議会

令和元年度 生活応援ボランティア養成講座

高齢化が進む中、北区でもひとり暮らしや夫婦のみの高齢者世帯が増えてきており、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、外出付き添いやちょっとした家事支援などが必要となっています。

北区社会福祉協議会では、地域の皆さんが高齢者の方々へ、ちょっとした生活の手助けをする意義や方法などを学ぶ「生活応援ボランティア養成講座」を開催します。

自分たちができることを考え、活動に結びつけ、お互いに支え合っていく地域社会づくりに向けて、有意義な時間になると思います。この機会にぜひご参加ください。

定年退職した方もお待ちしています♪

【生活応援ボランティアの例】

話し相手、買い物代行、外出付き添い、軽易な家事支援など

★講座修了後は、参加者でグループになり活動をしていきます♪



シニアの皆さまの参加も大歓迎！

元気な高齢者が活動の担い手となって、住み慣れた地域での生活を継続し、さらに健康寿命を延ばす生涯現役社会を誰もが願っています。

「生活応援ボランティア」をとおして、社会と関わり、生きがいを得て地域とつながっていきませんか。

【全3回】

日時

令和元年 10月25日(金)・10月29日(火)
10月31日(木) 13時～15時30分

定員

40名

(定員を上回った場合は抽選のうえ決定いたします。)

場所

北区役所 2階 第1会議室
(北区北24条西6丁目)

参加

北区在住で生活応援ボランティア活動してみたい方。講座終了後、グループになって活動に参加できる方(原則、3日間参加できる方)

受講料

無料

※2日目のみ、北区民センター 2階 講義室

講座内容

開催日時	No	講座内容	講師等
第1回 10月25日(金) 13:00~15:30		開会式／オリエンテーション	
	1	「介護保険制度改正 これからどうなる？ 私たちの暮らし」 *超高齢社会の今求められる地域助け合いボランティア活動の必要性などについて学びます。	北区社会福祉協議会 事務局次長
	2	「地域で暮らす高齢者に必要な“ちょっとしたお手伝い・困りごと”」 *高齢者が必要としている福祉ニーズや地域の福祉ニーズについて、高齢者の総合相談機関から学びます。	北区第1地域包括支援センター センター長 大河原 撰 氏
	3	「誰もが安心して暮らせるまちを目指して 私達ができること」 *ボランティア活動の基本を学ぶほか、助け合いボランティアとして何ができるのか、考えます。	北区社会福祉協議会 事務局次長
第2回 10月29日(火) 13:00~15:30	4	「高齢者の特徴とコミュニケーションの取り方」 *生活支援を必要とする方とのコミュニケーションの取り方、簡単な生活支援技術、活動時の緊急対応法(困ったときの対応方法)などを学びます。	北ヘルパーセンター 所長 今野 愛子 氏
	5	「高齢者の心とからだ」 *高齢者の心身の状況や疾病、感染症対策等について学び、生活支援の活動をおこなうにあたっての留意点を学びます。	北区第1地域包括支援センター 看護師 松原 麻美 氏
第3回 10月31日(木) 13:00~15:30	6	「身近に取り組むことができる生活応援ボランティア活動」 *平成29年度に誕生した「北区生活応援ボランティアの会」の活動を活動者から説明していただき、生活支援ボランティアを学びます。	北区社会福祉協議会 事務局次長 北区生活応援ボランティアの会 代表 石田 修 氏
	7	「助け合い活動を体験！助け合いゲーム」	北区社会福祉協議会 事務局次長
	8	「ボランティアフリートーキング」 *ボランティア講座に参加した感想などを自由に話し合います。	
	9	「今後の活動について」 *グループ活動に向けた意見交換等を行います。	
			閉会式／修了証授与 *所定の講座を受講した方へ修了証を交付します。

令和元年10月15日(火)までの午前9時～午後5時(土日・祝祭日除く)にお電話か窓口でお申し込みください。

お申し込み

社会福祉法人 札幌市北区社会福祉協議会 TEL 757-2482
〒001-0024 札幌市北区北24条西6丁目 北区役所1階

参加決定通知

申し込み締め切り後、受講が決定した皆さまに決定通知を送付いたします。なお、定員を上回った場合の抽選の結果、受講できない方へは電話でご連絡します。

北区民センターニュース

2019年

8月20日発行

〒001-0025 北区北25条西6丁目1-1
電話 011-757-3511 FAX 011-717-1139
ホームページ: <http://kitakuce.sakura.ne.jp/>



歌謡フェスティバル参加者募集

申込期間 ■ 9月11日(水)～9月24日(火)
受付 ■ 1階 窓口、または電話、FAX
TEL(011)757-3511
FAX(011)717-1139
開催日時 ■ 10月27日(日)
場所 ■ 3階 ホール
時間 ■ 開場午前11:30 開演午前12:00
(午後4:30終了予定)
料金 ■ 無料
定員 ■ 25組(先着)



毎年大好評の「歌謡フェスティバル」
歌声に自信のある方、「熱唱したい！」という方、
是非お申込みください！
通信カラオケ使用も可能です。
CDのカラオケVer.での参加も承っております。
※CDでご参加の際は歌詞の暗記が必要となります。
その他、詳しい募集内容は
北区民センターまでお問い合わせください。

書道講座

～初心者のためのやさしい～

日時: 9月3日・10日・17日・24日
10月1日・8日(全6回毎火曜日)
場所: 3階 実習室 定員:15名
時間: 午後1時30分～午後3時30分
受講料: 参加費:2,000円
教材費:1,000円
内容: 漢字・仮名・実用書道を
親切丁寧にご指導いただけます！
持ち物: 硯・下敷き・文鎮・大筆・小筆・墨
申し込み: 8月11日(日)～9月3日(火)



講師: 温知会 名誉会員
弥生支部支部長 相馬 公華 さん

スクエアダンス 無料体験会のお知らせ

カントリーの曲に合わせて踊る
楽しいダンスです！

聞いて 歩いて 頭と身体の体操

生涯現役で楽しめる それが・・・『スクエアダンス』です
日時: 2019年9月23日(祝/月)
時間: 午後1時15分～午後3時30分
会場: 北区民センター1階 集会室
主催: Sapporo Sunny Swingers



(サッポロ・サニー・スウィンガーズ)

共催: 一般社団法人日本スクエアダンス協会北海道統括支部

* お問い合わせ先 斉藤 正也(011)271-2983

E-mail: sygr.saito@nifty.com

* Sapporo Sunny Swingers ホームページ

<http://sss.o.oo7.jp/>

* 見学歓迎 毎水曜日午後6:00～
主に 北区民センター1階 集会室



七夕 短冊枚数集計結果！

北区民センター1階ロビーでは、七夕を楽しんで頂けるよう、七夕飾りの他、笹と短冊を置いてご自由に「願いごと」を書くスペースを設けておりました。今年も1,520枚もの「願いごと」が集まり、小さなお子様から大人の方まで多くの方が書いて下さいました！皆さんの願いごとが叶いますよう職員一同祈っております！



■受付方法■

北区民センター1F窓口、又は電話(757-3511)/FAX(717-1139)

図書室だより

電話：757-5399

FAX：757-9299

2019.8.20発行

大人のための絵本講座

～素敵な絵本に出会いましょう～

9月3日(火) 10:30～11:30

- *会場は3階青年の部屋です。
- *講座終了後に自由参加の茶話会があります。(12:00まで)
- *定員20名(先着順)
- *受講料は無料です。(要申込)

ブックトークと読み語り

「昔話の面白さを再発見する」
「心の贈り物をあなたへ」

講師: おはなし研究会 elm
石川 悦子 氏
大西 峰子 氏

藤女子大学の学生たち による研究発表がありました。

毎年夏になると、藤女子大学の図書館学課程の公開授業が北区民センターで行われます。今年は8月3日(土)に開催しました。会場が1階ロビーだったので通りがかった方も多いのではないでしょうか？市民の皆様にも観ていただきながらの発表は、学生たちも緊張していた様子でしたが、どのグループも真剣に取り組んでいました。



新刊情報

一般

- 『60分でわかる！プログラミング教育最前線』
プログラミング教育研究会・著 007/ブ
- 『絶壁建築めぐり 日本のお寺・神社』
飯沼 義弥・著 521/イ
- 『奇跡の朗読教室 人生を変えた21の話』
斎藤 ゆき子・著 809/サ

児童

- 『じぶんでよめるきょうりゅうずかん』
— J45/セ
- 『ルビとしっぽの秘密 本屋さんのルビねこ』
野中 柊 J913/ノ
- 『たんけん！空港のしごと しかけがいっぱい！』
クライブ・ギフォード・文 J/タ

特集「スポーツ小説」

夏の盛りが過ぎ、秋が近づいてきましたね。
スポーツが出てくる小説を読んで、
爽快な気分を味わってみませんか？



オススメの児童本「ライオン」

ライオンってこわい？かっこいい？
それともかわいい？
ライオンが出てくる本を紹介します。



9月の予定

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

■ 第4金曜日は休室日です。

- 7日(土) おはなしの会(つくしんぼ)
- 3日(火) 大人のための絵本講座

予告

2019年度第1回利用者アンケートが始まります。
今年もご協力よろしくお願いします。



在宅医療と介護の連携に関する市民シンポジウム

札幌市医師会 東区・北区支部合同市民シンポジウム
東区地域ケア連絡協議会 第191回特別例会

人生100年時代を 平穏な心で過ごす生き方とは

～『いのちのメッセージ』まちのお医者さんが見つめる生老病死より～

日時

2019年10月20日(日)
13:30～15:30

場所

東区民センター2階大ホール
(札幌市東区北11条東7丁目1-1)

参加費

無料 ★申込みは必要ありません。

北海道新聞に連載された「いのちのメッセージ」の著者である方波見先生のご講演をお聞きし、対談とシンポジウム形式で、「平穏な心で過ごす生き方」について一緒に考えてみませんか



プログラム

13:00 受付開始

13:30 開会の挨拶

13:40 講演：方波見医院 方波見 康雄 先生

14:40 市民シンポジウム 方波見康雄先生と東区で訪問看護をしている伊志嶺さんとの対談と市民の皆様とのシンポジウム

15:30 閉会の挨拶

講師のご紹介



方波見康雄先生

大正15年 海道空知郡奈井江町生まれ、現在93歳。北海道大学医学部卒業。昭和34年 奈井江町に戻り方波見医院医師。北海道大学医学部非常勤講師、藤女子大学教授などを歴任。平成29年第71回北海道新聞文化賞受賞。平成18年5月から北海道新聞に「いのちのメッセージ」毎月連載。理屈だけに偏らない人間性のある医療。“一介の”町医者として、地域の人々と向き合い、寄り添って診療されることをモットーとされています。

主催 札幌市・札幌市医師会東区支部・北区支部

後援 札幌歯科医師会東支部・札幌薬剤師会東支部・東区地域ケア連絡協議会・東区医療介護ネットワーク協議会・タッピーねっと

お問合せ 東区地域ケア連絡協議会事務局
(札幌東訪問看護ステーション 担当:伊志嶺)

TEL:011-742-7966 FAX:011-742-8066